事務事業名	<u>No.</u> 1	生産緑地維持管理事業					所属部	都市整備部	所属語	課 都市	計画課
政策名	No. 7	7	都市				所属係	都市計画係	深 課長:	名 町日	3 孝弘
施策名	No. 27	基本施策27 農業振興と農地保全の推進 款 項 目 事業コード 0 8 0 3 0 1 0 1 3 8 7 0 0					裁量性 法	分等により事 業	業の実施が	義務付け	られている
予算科目	会計 一般						→ ** *** *** *** *** *** *** *** *** **				
事業期間		単年度のみ		単年度				期間限定複数年		年度)
事業の概要 の具体的な手順及び詳細	/期期限党海粉年度	事業は全体権を記述)			> D I	巨紫な関松]	た奴錯(い)	、 っ、どのような経			
定標識等の維持管理。 に決定された生産緑地へ 業委員会と連携した生産総 でいた生産緑地の維持管	の法定標識の新規認	は置と既設の老朽化に伴っ		を行っ	てい改正、	上産緑地法	(昭和49年)の 禄地制度の創)施行により開始 別設(平成29年)	台し、その後新	法(平成3年))による制度
農業振興係と連携した生産された生産緑地の買取申 とされた生産緑地の買取申 とたいという希望に対する 多摩西部生産緑地地区担 数正時の条例、指定基準 産緑地の追加指定、削除の 定生産緑地の指定の事務	日出に対する地権者を 目談を行う。 当者会議に参加し近 への対応。 の事務。	応。地権者が亡くなった			・根地を 都市 特別・関る。 特別 令和2 都市	5計画変更 E生産緑地 E生産緑地 E生産の事業 5計画変更	指定面積の 制度意向確認 制度の説明会 は計画(令和: 指定面積の	ででは、 変更)、生産緑は のでである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	地台帳の整備 施、特定生産 こいる主な活動 地台帳の整備	緑地指定基	
状把握の部(PLAN)(DO) 務事業の目的 事業を実施する背景・課題 、緑地その他の公共用地 でが災害の防止など良好な の対象者及び対象とした理 の所有者からの申請を受け かる「指定する農地等」に 事業による直接的な効果及 には法的拘束力によっ	等(なぜこの事業を行るの整備の現況及び料金生活環境の確保及び制度) (できるだけ細かく) 、良好な生活環境の変当するもの。	将来の見通しを勘案し、都 が公園緑地機能に相当の (セグメント化する) 確保に相当な効果があり への道すじ(裁量性の大き	効用が リ、かつ、 い事業	あり、か 、公共が <u>のみ</u> 記	いつ、将来の 	公共施設等 	の敷地の用 	に供する土地と で適していること	なりうるため。	生産緑地地口	区指定基準
指標等の推移	T				東伏00左座	ᆝᄑᅷᅈᅎ	车] 亚 c 20 c	<u> </u>		口悔左在	1 学好
項目		名称		単位	平成28年度 (決算)	(決算)	(決算)(/	度 令和元年度 A) (決算見込み)(B)		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	生産緑地の指定生産緑地の買い		ア	m² m²	0 14220	3410 6460	2070 2590	930 2160			-1140 -430
対象指標	国立市面積	- X	ア	ha	815	815	815	815	815		(
(対象の大きさを表す指標) 	生産緑地の総面		イ ア	ha	45.24	44.94	44.88	44.76			-0.12
成果指標 ^(事務事業の達成度を表す指標)	生産緑地の買い		, イ	m²	0	0	0	751			751
上位成果指標 ^(施策の達成度を表す指標)	農地(生産緑地)面積の減少率	アィ	%	3.04	0.66	0.13	0.26			0.13
務事業コストの推移					교육ᇲ左효	1 1 1 1 0 0 / 1	ᇍᇎᅷᇮᄼ	<u> </u>		口插左连	
	項目			単位	(決算)	(決算)	(決算)(/	度 令和元年度 A) (決算見込み)(B)		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
	<u>IF</u>	規職員従事人数 延べ業務時間		人 時間	3 200	25	3 0 70	3 3 00 700	500 500		0
		######################################			4 000		0 5	0.500	0.500		
人に係るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数		千円 人	1,000	1,25	0 3,50	3,500	2,500	0	0
	再任月	延べ業務時間 職員人件費計(D)		時間 千円	0		0	0 0	0	0	0
		託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間 							0
		職員人件費計(E) :係るコスト計(F)		千円	1,000	1,25	0 3,50	0 0 0 0 3,500	2,500	0	0
		物件費 うち委託料		千円					3,606 3,575		0 0
物に係るコスト		維持補修費		千円							0
	物に	係るコスト計(G) 扶助費		千円	0		0	0 0	3,606	0	0
投転士山がたーフ!		補助費等 繰出金		千円							0
移転支出的なコスト		※□並 その他 移転支出的なコスト計(H)		千円							0
 その他	移転支 ┃			千円	0		0	0 0	0	0	0
ての旭	支出計(I)=(F)+(G)	その他 H(H)		千円 千円	1,000	1,25	0 3,50	00 3,500	6,106	0	0
		· · ·			1,000	1,20	3,00	0,000	0,100		0
	国庫支出金 都支出金			千円 千円							0
分担金及び負担金 使用料及び手数料				千円 千円							0
	繰入金 その他			千円	Ī		ī	1	1		0

収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I) 一般財源投入割合

証価の部(CUECK) ★ 原則仕事後割	評価、ただし複数年度事業は途中評	/	
計画の前(GRECK) * 原則は事後記 ① 公共関与の妥当性	見直し余地がある ⇒【以下に理	里由を記入】 ⇒3 改革・改善	方向の部に反映
なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	生産緑地法には、市は、地権者が	里由を記入】 次内の生産緑地地区に関する都市計画 心の維持管理等に対する支援を行う	
②成果の向上余地			方向の部に反映
成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	指定する農地等の要件緩和等に	単田で記入】 より向上の余地はあるが、生産緑地制	度の運用の観点から慎重な対応が
③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記入	、】 ⇒3 改革・改善方向の部に反	映
事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?	✓ 影響有 ⇒【その内容】行政の不作為となる。個人の財産 ることはできない。	の制限に関わる事業で、法の定めに	基づくものであるため、廃止・休止す
④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	【以下に理由を記入】	±・改善方向の部に反映 ∷はない。
図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	■ 事業費削減(歳入確保)余地がある ■ 事業費削減(歳入確保)余地がない 最低限のコストでまかなっており、	、⇒【以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	 ✓ 削減余地がある ⇒【以下に5	里中を記入】 ⇒3 改革・改善	
会地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	削減余地がない ⇒【以下に理		
⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し余地がある ⇒【以下にす		方向の部に反映
余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	生産緑地は10年間)義務付けられる	単田を記入】 受けられてはいるが、生産緑地農地の るなどの行為の制限が課せられている ら行われるものであり、公平・公正であ	。生産緑地地区への指定に際して
・ 業の実施に当たり、ソーシャル・イン	・ クルージョンの理念を踏まえ、多様	生への配慮はなされているか?	
適切に実施している・一部実施している	→【以下に理由(具体的な取組	内容)を記入】 実施していない	` ⇒3 改革・改善方向の部に反映
評価になじまない			
		果のギャップはあるか?) <u>(裁量性の</u>)と事業の対象者の目的(課税優遇の	
17政の日的(公園緑地・防火機能及) も一致していない場合もあるが、営農			子文で辰未在呂の維持川よ、必り
<u> </u>		1 to two 2 = 2 th	
の事業は施策の成果向上や公益の 営農に係る主たる従事者の死亡等に 地の維持・保全、育成に効果がある	こよる買取申出により削除される生産	<u>入さい事業のみ記載)</u> E緑地がある一方で、追加指定を受け	る農地もあり、市街化区域内の都市
評価結果の総括と今後の方向性(?)) 担当課評価者としての評価結果	次年度計画と予算への反映)(ACTIO	DN) 【(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
① 公共関与妥当性	i切 見直し余地あり	平成29年の法改正によって指定 制定により生産緑地指定の指定要	
	— [切 ✓ 見直し余地あり	定の効果が表れてはいるが、今後も 緑地の維持・増加を図る必要がある	0
③ 効率性	☑️見直し余地あり	令和2年度からの特定生産緑地指 を行った。	定申請に向けて、営農者への周知
④ 公平性 / 適	□見直し余地あり		
	業のやり方改善(効率性改善) □事業の止 □廃止 よい) 上ない) 件緩和等により向上の余地はあるが	りやり方改善(公平性改善) 、生産緑地制度の運用の観点から慎	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
な対応が必要。生産緑地地区の追加 持・保全、育成に努めていく。	川疳疋や、今後予定される特定生産	緑地地区の指定を通じて都市農地の	上 維 の ×
都市計画変更に係る関係図書の作品 余地はある。	戊など、一定の時間を要する事務の -	一部を委託化するなど、効率性の改善	果 持
)改革,改善を実現する上で解決す。 生産緑地制度の運用は、国の指針を		等がされているが、市の権限の範囲 で	では限界がある さらかる抗索を図る

生産緑地制度の連用は、国の指針や法改止を経て一定程度の要件緩和等がされているが、市の権限 とめには、生産緑地制度の運用の緩和等について、国や都に働きかけを行っていくことが必要となる。

事務の一部委託化の実施により、人件費の削減が見込める。 (6) <目標達成基準, 見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたことになりますか。また、見直し・廃止となりますか? 都市計画上の要請は、時代ごとに変遷していくため、目標達成の概念はなじまない。

評	価実施 令和 2	年度		尹未飞			<u> </u>	兼 事務	サネーク					
	事務事業名		No. 9		城山さと	のいえ	.管理道	運営事業	月	斤属部	都市整備部	所属	课 都市農	業振興担当
	政策名		No. 6			6 段	環境		月	所属係 城	山さとのいえ	担当 課長	名 堀汐	工祥生
	施策名	F	No. 19	基本	施策27	農業振	興と農地	地保全の推	進	裁量性 裁	量性が大きい	事業		
	 予算科目		会計		頁 目 1 0 3	● 1	業コート 3 4 8	2 0	ž	去令根拠	国立市城山さと	のいえ設置条	·····································	
	事業期間			単年度の			<u>3 4 0</u> 単年度		I		明間限定複数年度		左曲	`
	事業の概要										·	年度 ~	年度)
業立農の指の	の具体的な手順及び詳細(終内容】 市の農業、くにたち野菜の市 農業体験事業を実施する。市 一連の作業を体験できる農 導をしてもらい、体験農園な 食料供給源となることや、自 うした社会的財産である都可	市民認知度 市内農園で 業体験事業 ど今後の農 然環境の係	を向上させの収穫体駅 の収穫体駅 巻を展開。 農業経営に 呆全、教育	せるため、また 険をはじめ、 農業者に収れ も生かしても の場になるが	た農業者の 農地におい 獲体験の受 ららう。また、 など、多面的	いて種ま け入れ、都市部 的な機能	きから収 や、農業 の農地/ ほを有して	平 成 2 なるよ	4年から平成 された、農業 <u>毛績及び事業</u> 是園での野菜 とした作物で で またした作物で で またい またい またい での民家	26年度にか 養体験学習 計画 ((令和元年 収穫体験、 の調理体験 ・公園を使 計画(令和2	、どのような経終けて実施された を設「城山さとの ででの種まき といった体験事 した城山の里 年度に計画して	「活き活き都のいえ」の管理 注活動を具体的 をから収穫まで 業を実施。ま 山をより多くの	市農業推進事業では、一般に記載した。、施設のスプロストランでの農業体験がある。	である。 は、市内農園 スペースの貸 ていただくイ
事事ででしている。	状把握の部(PLAN)(DO) 孫事業の目的 事業を実施する背景・課題等市の農業、くにたち野菜の所にもらい、体験農園など今後いる。こうした社会的財産ででの対象者及び対象とした理者及び農業者以外の市民。 事業による直接的な効果及が農業に親しめる環境づくり	市民認知度 の農業経営 由(できるか 老若男女「 び施策の成	を向上させ 営にも生か き地を、地格だけ細かく 問わず、市 成果向上へ	せるため、ま いしてもらう。 権者と共に市 セグメント化 の農業・農 、の道すじ(<u>(</u>)	また、都市 5民全体で ⁵ さする) 地と触れ合 数量性の大	部の農場でるためできるためできることが、	他は災害 相互理 できるよ <u>集のみ</u> 証	計時の食料供 解を深める。」 さうにするため 【載】	給源となるこ。 農業者の理解 。	とや、自然理	環境の保全、教	育の場になる	など、多面的	な機能を有
₹	指標等の推移													
71														
	項目			 名称			単位	平成28年度			度 令和元年度		目標年度	差額
_		体験事	 業実施回		農業•調	理):	単位アー回	平成28年度 (決算) 38	平成29年度 (決算) 42		度 令和元年度) (決算見込み)(B) 63		目標年度 (目標値)	(B)-(A)
_	項目 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)			^{名称}]数(収穫・ 貸出回数	農業∙調	理):		(決算)	(決算)	(決算)(A) (決算見込み)(B)	(当初予算)		(B)-(A)
_	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標		スペース]数(収穫・	農業∙調	理)	アロ	(決算) 38	(決算) 42	(決算)(A 42	(決算見込み)(B)63	(当初予算) 45		
_	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	施設の2 施設開館	スペース 館日数]数(収穫· 貸出回数	農業・調	-	ア 回 イ 回 ア 日 イ	(決算) 38 157 335	(決算) 42 133 335	(決算)(A 42 151 335	(決算見込み)(B) 63 186 335	(当初予算) 45 150 335		(B)-(A) 21 35
_	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標	施設の2 施設開館 体験事態	スペース 館日数 業参加人]数(収穫· 貸出回数	農業・調	-	ア 回 イ 回 ア 日 イ	(決算) 38 157 335 423	(決算) 42 133	(決算)(A 42 151) (決算見込み)(B) 63 186	(当初予算) 45 150		(B)-(A) 21 35 (
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標)	施設の2 施設開館 体験事態 施設の3	スペース 館日数 業参加人 来館者数]数(収穫· 貸出回数		-	ア 回 イ 回 ア 日 イ	(決算) 38 157 335	(決算) 42 133 335 629	(決算)(A 42 151 335 618	(決算見込み)(B) 63 186 335 527	(当初予算) 45 150 335 600		(B)-(A) 23 36 ((
-	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標)	施設の2 施設開館 体験事態 施設の3	スペース 館日数 業参加人 来館者数]数(収穫· 貸出回数 .数		日本数二	ア 回 イ 回 ア 日 イ ア 人	(決算) 38 157 335 423 19,422	(決算) 42 133 335 629 20,924	(決算)(A 42 151 335 618 18,179	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360	(当初予算) 45 150 335 600 20000		(B)-(A) 23 36 ((
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース館日数 業参加人来館者数 かいえ体験]数(収穫· 貸出回数 .数		日本数二	P	(決算) 38 157 335 423 19,422 853	(決算) 42 133 335 629 20,924 871	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900		(B)-(A)
-	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標)	施設の2 施設開館 体験事態 施設の3	スペース 館日数 業参加人 来館者数 かいえ体験	数(収穫・ 貸出回数 数 事業等に満	足した参加	日本数二	ア 回 イ 回 ア 日 イ 人 ア 人 イ 人	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算)	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算)	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802	45 150 335 600 20000 900	(目標値)	(B)-(A) 2 39 218
-	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標)	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館日数 業参加人来館者数 かいえ体験 目 正規]数(収穫· 貸出回数 .数	足した参加	日本数二	P	(決算) 38 157 335 423 19,422 853	(決算) 42 133 335 629 20,924 871	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度) (決算見込み)(B)	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900	目標年度	(B)-(A) 2 3 -9 218 7: 差額 (B)-(A)
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標)	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース館日数 業参加人来館者数のいえ体験 目 正規	数(収穫・ 貸出回数 数 【 事業等に満 現職員従事が	足した参加	日本数二	ア 回 ロ ア 日 イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度 (決算見込み)(B) 4 4	45 150 335 600 20000 900 今和2年度 (当初予算) 1 500	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2 3. -9 218 7: 差額 (B)-(A)
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館日数 業参加人 来館者数 かいえ体験 目 正規 再任	数(収穫・ 貸出回数 数 表数 表数 表数 表数 表数 表数 表数 表数 表数	た 大数 間 (C) (人数	日本数二	ア 回 ロ ア 日 イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000	45 150 335 600 20000 900 令和2年度 (当初予算)	目標年度	(B)-(A) 2 339 218 739 (B)-(A)
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標)	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館日数 業参加人 来館者数 かいえ体験 目 正規 再任	数(収穫・ 貸出回数 数 【 事業等に満 現職員従事が 正べ業務時 用職員務時	た 大数 計 (C) (人数 間	日本数二	ア 回 回 ア 日 イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\frac{\text{charge}}{20000}\$ 1 500 2,500	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2 3 -9 218 7 差額 (B)-(A)
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館日数 業参加人 来館者数 かいえ体験 目 正規 再任用 属	数(収穫・ 貸出回数 数 【 事業等に満 現職業務時 用職業務時 用職業人件費事 で最長の で最長の ではまする。	大数 間 計(C) 大数 間 計(D) 大数	日本数二	ア 回 回 日 イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1 1,600	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 0	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000 0 10,000 0 0 0 0	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\phint{\pint{\phint{\phint{\pint{\phint{\pi	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2 3 -9 218 7
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館田 数 業参加人 大田数 一名 本館者 をおきる では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	型数(収穫・ 質出回数 数 、数 、事業等に満 現職業の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	大数 間 計(C) 大数 間 入数 間 計(D)	日本数二	ア 回 回 日 イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1,600 3,200 1 2,446	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 0 1,600 3,200 1 2,594	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1,512 7 2,638	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\partial \partial \pa	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2 3 -9 218 7 差額 (B)-(A) (C) (C) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館田 数 業参加人 大田数 一名 本館者 をおきる では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	型 (収穫・ 関 出回数 数 表 東 業等に満 現職業等に満 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	大数 間 計(C) 大数 間 入数 間 計(D)	日本数二	ア 回 回 日 イ ア イ 人 人 人 円 人 時 千 人 時 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1 1,600 3,200 1	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1,512 7 2,638 7 12,638	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\text{\$\frac{\partial	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2 3 3 -9 218 (B)-(A) 差額 (B)-(A) 0 113 121 121
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館田	数(収穫・ 数(収穫・ 登出回数 数 	大数 間 計(C) (大数 間 計(E) 十(F)	日本数二	ア 回 日 日 イ 人 人 人 単 大 共 サ 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 5 2 6 2 7 2 8 3 9 3 9 4 9 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1 1,600 3,200 1 2,446 4,086 975	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000 0 0 0 0 0 0 1,512 7 2,638 7 12,638 5 4,149 4 1,030	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\partial \partial \pa	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2 3 -9 218 7 -8 -9 (B)-(A) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館日	数(収穫・ 数(収穫・ 登出回数 数 3 3 3 3 3 3 3 3	大数 間 計(C) 大数 間 計(D) 大数 間 計(E)	日本数二	ア 回 回 日 イ ア イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,446 5,646 4,086	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 度 令和元年度 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000 0 0 0 0 0 0 1 1,512 7 2,638 7 12,638 5 4,149	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\text{\$\frac{\partial	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2 3 3 -9 218 73 (B)-(A) 0 0 0 0 113 121 121 684 -74
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館日	数(収穫・ 数(収穫・ 数 収回数 数 3 3 3 3 3 3 3 3	大数 間 計(C) 大数 間 計(D) 大数 間 計(E)	日本数二	ア 回 回 日 日 日 イ 人 人 単 大 大 日 日 大 日 日 日	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1 1,600 3,200 1 2,446 4,086 975	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) (決算見込み)(B) 63 186 335 335 335 335 335 335 335 335 335 33	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\text{\$\frac{\partial	目標年度(目標値)	(B)-(A) 2: 3! ((C) -9: 218: (B)-(A) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移 人に係るコスト	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館日	数(収穫・)	大数 間 計(C) 大数 間 計(D) 大数 間 計(E)	日本数二	アイワイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイア	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,446 4,086 975 0 4,086 0 631	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928 0 3,978 928 0 692	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) (決算見込み)(B) 63 186 335 335 335 335 335 335 335 335 335 33	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 \$\text{\$\frac{\partial	(目標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 2: 3i ((C) ((C) ((C) ((A) ((C) ((A) ((C) ((A) ((C) ((C
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館田 大田 東田	数(収穫・収穫・収穫・収穫・収穫・収穫・収穫・収穫・収穫・収穫・収穫・水の)	大数 間 計(C) 大数 間 計(E) 大(F)	日本数二	ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,446 4,086 975 0 4,086	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928 0 3,978 928 0 692 0 0	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) (決算見込み)(B) 63 186 335 335 335 335 335 335 335 335 335 33	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 900 300 0 1,510 1,512 2,268 4,768 2,298 1,307 2,298 0	(目標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 2: 3: ((C) ((C) ((C) ((C) ((C) ((C) ((C) ((C
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) み事業コストの推移 人に係るコスト 物に係るコスト	施設の2施設開館体験事態施設の3城山さとの	スペース 館田 大田 東田	数(収穫・関本)	大数 間 計(C) 大数 間 計(E) 大(F)	日本数二	ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ ア イ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 PR 成28年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 2,446 4,086 975 0 4,086 975 0 4,086 0 631	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928 0 3,978 928 0 692 0	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) (決算見込み)(B) 63 186 335 335 335 335 335 335 335 335 335 33	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 900 300 0 1,510 1,512 2,268 4,768 2,298 1,307 2,298 0	(目標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 2: 3! (() (() (() () () () () () () (() () ()
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) 務事業コストの推移 人に係るコスト	施設の3 施設開館 施設の3 城山さとの	スペロス 第一次	数(収穫・収穫・収穫・収穫・収種・収穫・収種・収穫・収種・収穫・収回数	大数 間 計(C) 大数 間 計(E) 大(F)	日本数二	アイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイアイ	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,446 4,086 975 0 4,086 975 0 4,086 0 631 0 0	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928 0 3,978 928 0 692 0 0	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) (決算見込み)(B) 63 186 335 335 335 335 335 335 335 335 335 33	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 900 \$\frac{\tau}{2,500}\$ 0 0 0 1,512 2,268 4,768 2,298 1,307 2,298 0 1,196 1,196	日標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 2: 3: (G)
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) み事業コストの推移 人に係るコスト 物に係るコスト	施設の3 施設開館 施設の3 城山さとの	スペース 館田 大田 東田	数(収穫・収穫・収穫・収穫・収種・収穫・収種・収穫・収種・収穫・収回数	大数 間 計(C) :人数 間 計(E) 十(F)	日本数二	P T	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,446 4,086 975 0 4,086 975 0 631 0 631	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928 0 3,978 928 0 692 0 692	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10	(決算見込み)(B) 63 186 335 186 335 527 20,360 802 802 802 802 802 802 802 802 802 80	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 900 2,500 0 0 0 1,512 2,268 4,768 2,298 1,307 2,298 0 1,196	日標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 27 38 (C) (C) (C) (C) (A) (B)-(A) (B
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) み事業コストの推移 人に係るコスト 物に係るコスト	施設の対域山さとの 項	スペロス 第一次	数(収穫・収穫・収穫・収穫・収種・収穫・収種・収穫・収種・収穫・収回数	大数 間 計(C) :人数 間 計(E) 十(F)	日本数二	P C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 4,086 975 0 4,086 0 631 0 0 631	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 1 2,594 5,794 3,978 928 0 0 3,978 0 692 0 10,464	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10 3,46	(決算見込み)(B) 63 186 335 186 335 335 335 335 335 335 335 335 335 33	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 900 \$\frac{\tau}{2,500}\$ 0 0 0 1,512 2,268 4,768 2,298 1,307 2,298 0 1,196 1,196	日標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 21 35 (C) (C) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) み事業コストの推移 人に係るコスト 物に係るコスト	施設の 対	スペロス 第	数(収穫・ 数	大数 間 計(C) :人数 間 計(E) 十(F)	日本数二	P C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 4,086 975 0 4,086 0 631 0 0 10,363	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 1 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928 0 3,978 0 692 0 10,464	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10 3,46	(決算見込み)(B) 63 186 335 527 20,360 802 (決算見込み)(B) 4 4 0 2,000 0	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 900 \$\frac{\tau}{2,500}\$ 0 0 0 1,512 2,268 4,768 2,298 1,307 2,298 0 1,196 1,196	日標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 27 35 (C) -97 2187 78 (B)-(A) 0 2187 78 (B)-(A) 0 0 0 113 121 121 684 -74 0 0 684 0 144 0 0 144 0 949
	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標) 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標) み事業コストの推移 人に係るコスト 物に係るコスト	施設の が	スペロス (記) 業 を (記) 表 (記)	数(収穫・ 数(収回数	大数 間 計(C) :人数 間 計(E) 十(F)	日本数二	P C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	(決算) 38 157 335 423 19,422 853 平成28年度 (決算) 0 0 1 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 4,086 975 0 4,086 0 631 0 0 10,363	(決算) 42 133 335 629 20,924 871 平成29年度 (決算) 0 0 1 1,600 3,200 1 1,600 3,200 1 2,594 5,794 3,978 928 0 692 0 10,464	(決算)(A 42 151 335 618 18,179 724 平成30年 (決算)(A 2,00 10,00 1,40 2,51 12,51 3,46 1,10 3,46 71	(決算見込み)(B) 63 186 335 335 335 335 335 335 335 335 335 33	(当初予算) 45 150 335 600 20000 900 900 900 \$\frac{\tau}{2,500}\$ 0 0 0 1,512 2,268 4,768 2,298 1,307 2,298 0 1,196 1,196	日標値) 目標年度 (目標値) 0 0	(B)-(A) 27 35 (C) -97 2187 78 (B)-(A) 0 0 0 0 0 113 121 121 121 684 -74 0 0 684 0 144 0 0 949 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

2		評価、ただし複数年度事業は途中評(*		
公共		見直し余地がある ⇒【以下に理 ✓ 妥当である ⇒【以下に理	由を記入]	善方向の部に反映		
与	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要がある	流事業を行うことで都市農業の理解		『献している。また、農業者と市民の交 :が妥当である。		
評	か、民間や受益者ができる事業か?か つ、行政が行うとした場合、国・都が行	五八日間にのの中氏の部門及木に		実施していくためには、農作物の生育 めて行く必要があるため、市が行う事		
価	う事業か、それとも市が行う事業か? ② 成果の向上余地	業として妥当である。なお、事業は 向上余地がある ⇒【以下に理	<u> 景低月1回、農作物が多くできる時</u>			
		✓ 向上余地がない ⇒【以下に理	由を記入]			
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は			事業回数を増やすことは困難であり、数値的 行っていく。		
	ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?					
有	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記入が 影響有 ⇒【その内容】	】 ⇒3 改革・改善方向の部に	反映		
効	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?	本事業を廃止した場合、市民に都市		する。また、市民と農業者の交流の場		
評		必要である。 歴 が	刊作りることで、辰未*辰地の里安!!	生が浸透していくため、長期的視野が		
価	▲ ④ 類似事業との統廃合・連携の可		は手段, 事務事業)			
	能性 目的を達成するには、この事務事業以		【以下に理由を記入】 ⇒3 改 【以下に理由を記入】	z革·改善方向の部に反映		
	外他に方法はないか?類似事業との制 廃合ができるか?類似事業との連携を	他 レ 他に手段がない ⇒【以下に理				
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?	**************************************				
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確	事業費削減(歳入確保)余地がある		⇒3 改革・改善方向の部に反映		
	保余地 成果を下げずに事業費を削減できない			の保全を行っており、事業費削減は難		
効 率	か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	しい。				
性	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	┃ ┃ ┃削減余地がある ⇒【以下に理	!由を記入】 ⇒3 改革・改			
評価	△ ₩	✓ 削減余地がない ⇒【以下に理	!由を記入】	る作物栽培管理・施設管理を行ってい		
	できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?	るため、合わせて、ボランテイアによ				
	(アウトソーシングなど)			* 1 -		
亚	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地	見直し余地がある ⇒【以下に理✓ 公平・公正である ⇒【以下に理	由を記入]	善方向の部に反映		
1	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	能を守ることにつながるため、公平・公正である	る。また、事業の参加対象は、さまざまな階層	形成、文化の伝承、学習と教育の場等としての機であり、公平性を保つため、応募多数時は抽選で		
価	が公平・公正になっているか?	放課後の子どもたちの居場所としての機能も見	果たしている。	・時休憩場所として、また児童館のない地域での		
1 -	業の実施に当たり、ソーシャル・イン 適切に実施している・一部実施している	ィクルージョンの理念を踏まえ、多様性 う ⇒【以下に理由(具体的な取組内		^{↓ `} ⇒3 改革・改善方向の部に反映		
۲	評価になじまない			· →3 战单·战普万间の前に及跃		
		加することができ、市の農業・農家と角でも家族連れでも参加しやすい時間帯		0		
	業者・事業参加者である市民双方だ 果のギャップはない。	から、市民が市内農業に触れる貴重な	機会を提供するものとして事業継	続が望まれているため、		
נעג	未のイヤツノはない。					
		増進に役立っているか?(<u>裁量性の</u> 、市内農業への理解促進に寄与する		#に役立つ事業である.		
及	来自こ 中氏の 久 加 尹 来 と 日 りここ C	、川門及木 "沙在肝风座门司子》	·6C/尼米V/火木门工(A 重0/4)	EICKY JAK COO.		
Ĺ		次に立る正式 子供 ・ の には) / 4 0 77 0				
	評価結果の総括と今後の方向性(担当課評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)			
	① 公共関与妥当性 🗾 遊	団切 ■見直し余地あり		「や農家が始めている「体験農園」へ		
	②有効性			である。収穫体験、農業体験、体験農 市における農業・農地への関心を高め		
		— 動切 ■見直し余地あり	ることが課題である。			
	— ④ 公平性 ✓ 遊	—— 動切 □見直し余地あり				
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案			(4) 改革・改善による期待成果		
	事業のやり方改善(有効性改善) 事		やり方改善(公平性改善)	(廃止・休止の場合は記入不要)		
	現状維持(従来通りで特に改革改善をし	<u> </u>	\$=\.=\. \	ᢥ. 削減 維持 増加		
ります。		都市農業の理解・推進のため、農業が	、フノ アイアを育成することを日指	向 上		
				成 排 力		
				低 下 × ×		
<u>/=`</u>		ぶも細筋しての抑性性				
	・改革,改善を実現する上で解決す 培管理ができる職員を常に配置する	べき課題とその解決策 る必要がある。それが不可能な場合に	は、肥培管理者を別途置く必要があ	 る。		
(6)	<目標達成基準, 見直し・廃止基準	≛>この事業はどのような状態となれ!;	ば目標が達成されたことになりますだ	か。また、見直し・廃止となりますか?		
市		が増え、農業経営の選択肢のひとつ		農業者の農地維持につながる。以上		
ഗ						